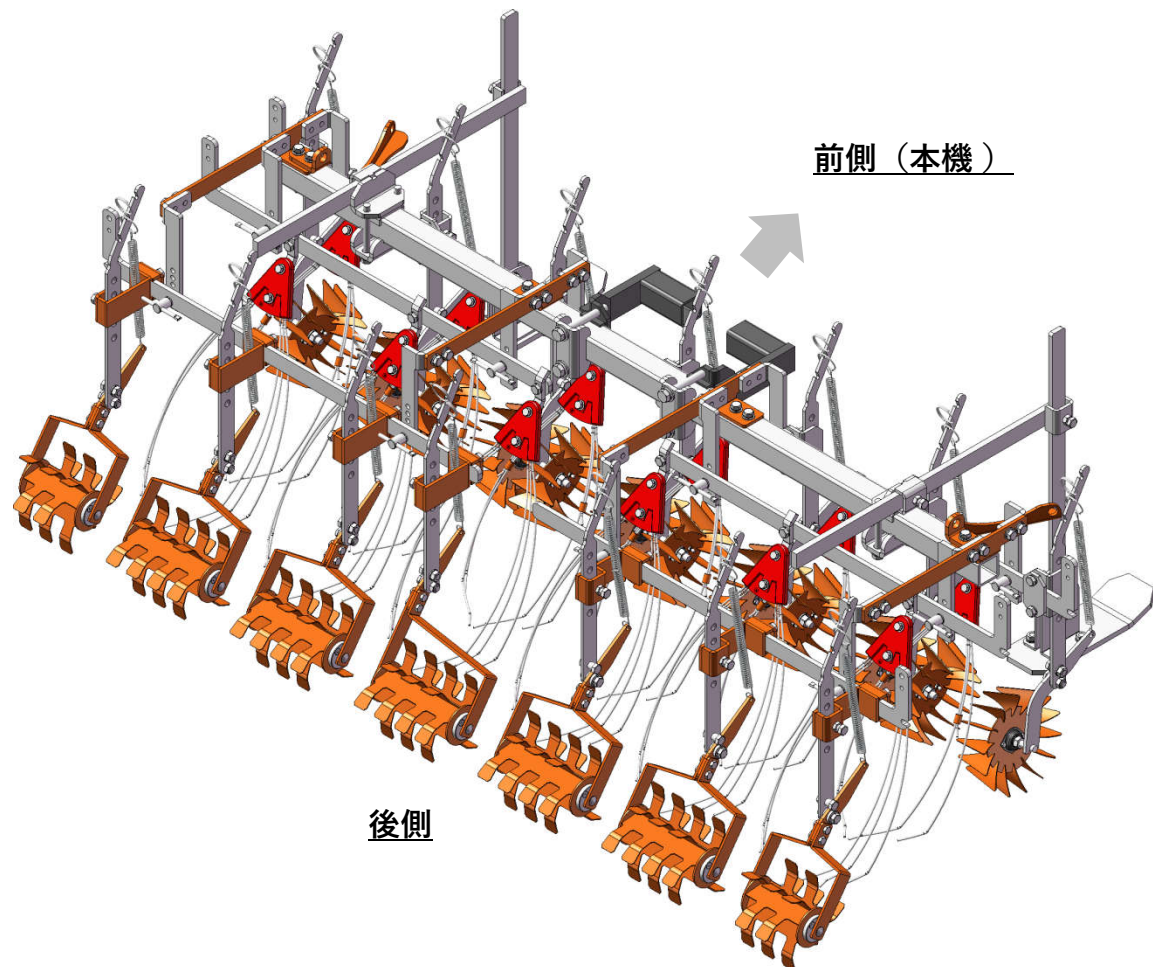


【都府県用】水田用除草機B (6条 30cm条間)

組立方法



ヒッチやけん引する本機を必要としない
「水田除草機 単体のみ」組立方法の紹介です

組み立て途中で水田除草機 単体を自立される事が難しいため
本機が無い場合でも組み立て可能な方法を説明しています。
※組立の途中で除草機を反転したり、支えたりする必要があるため
作業員2人以上と想定しています

ヒッチと本機がある場合

1名で作業が可能です。本機に除草機を吊り下げた状態で作業が可能です。

けん引する本機に「ヒッチを取付け」次にヒッチへ「50角フレーム」を
取り付けます。後は本書の通り、除草部品を順番に組み付けします。
※50角フレームは表裏、左右があるので本書ページ P4の確認をお願いします

6条 30cm仕様 以外の組み立てに方法について

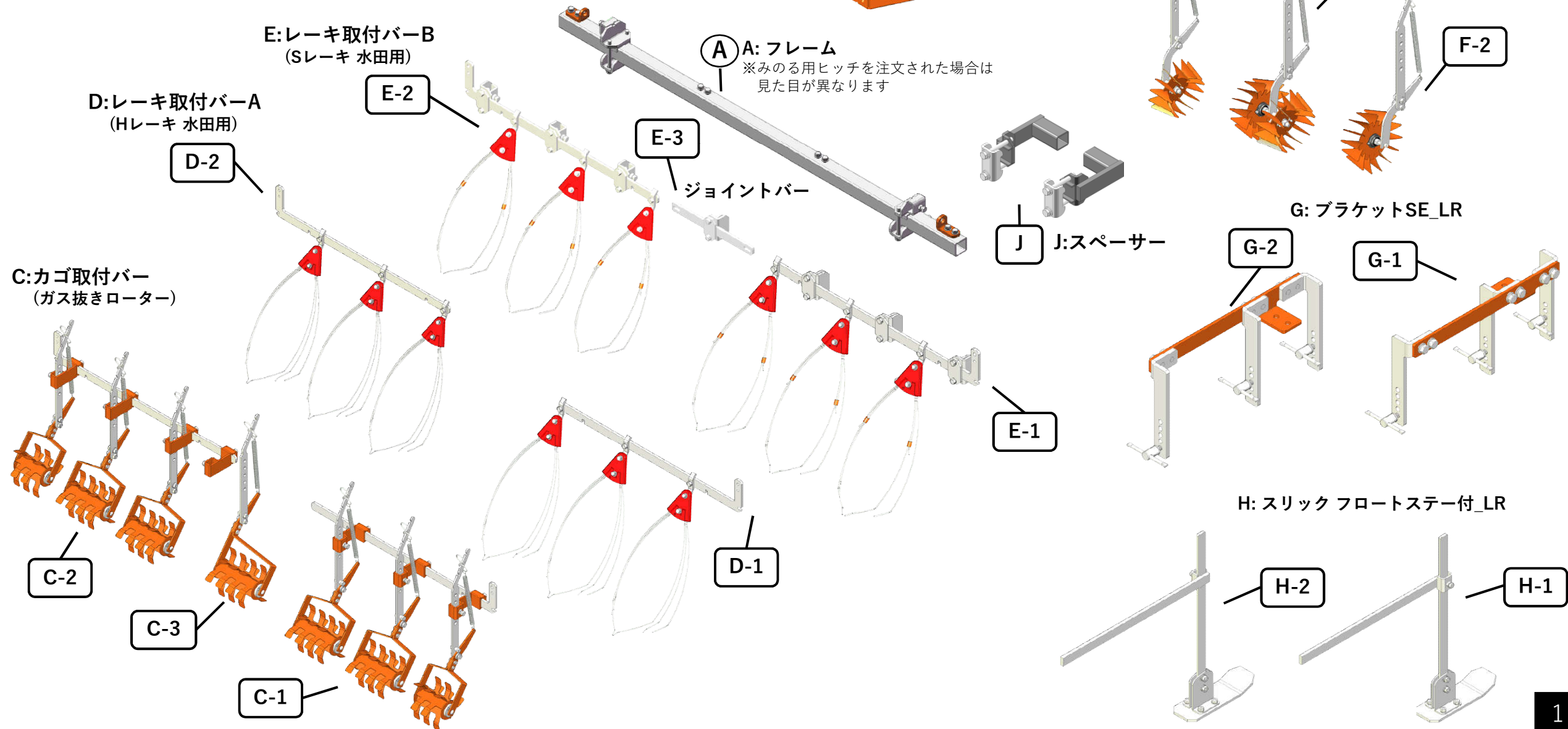
他の仕様でも本書の組み立て方法が参考になります。
33cm条間の仕様や、8条の仕様は本書説明の分割（梱包時）の単位が
異なりますが、組み上げる基礎部分や要点が共通です。

6条仕様 を→ 8条仕様 「2条を後付する」場合

最後のページ P13に記載しています

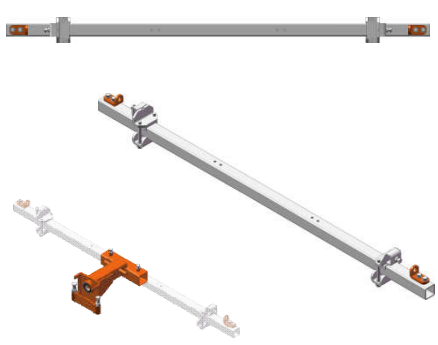
水田除草機B 6条30cm条間の仕様では
下図のA~Jの単位に分割し、段ボール梱包で発送しています。

※在庫している段ボールのサイズにより分割の単位が異なる場合があります
※みのる用ヒッチを同時に注文された場合は、フレームにヒッチが取り付けられています
※ボルト・ナットなど詳細は、別紙「パーツリスト」に記載しています

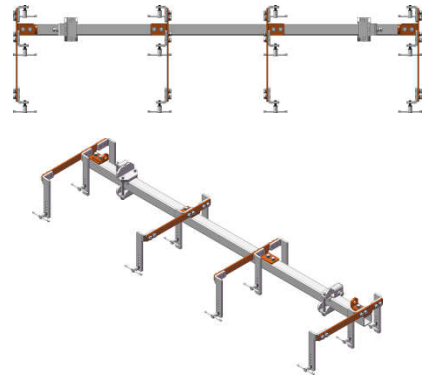


水田用除草機Bを組立時の大きな流れ

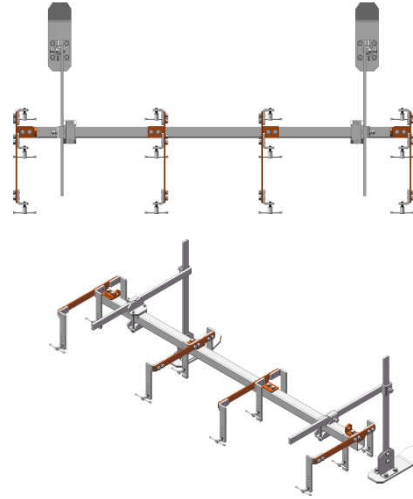
① A: フレームを取り出します



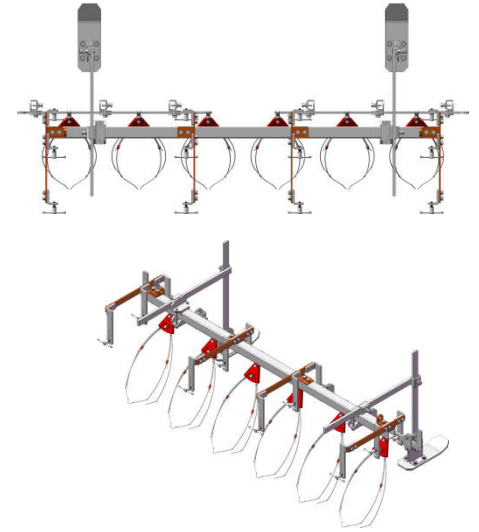
② G: ブラケットSE_LRを取付け



③ H: スリック フローステー付_LRを取付け



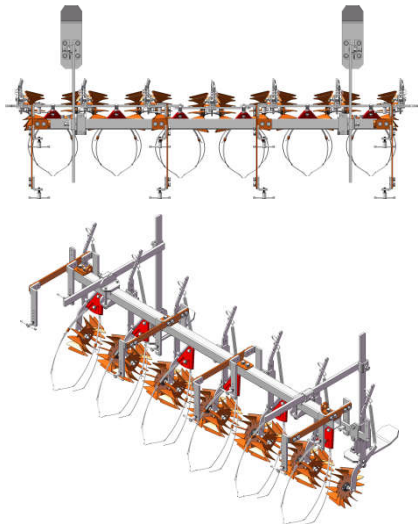
④ E: レーキ取付バーBを取付け
(Sレーキ 水田用)



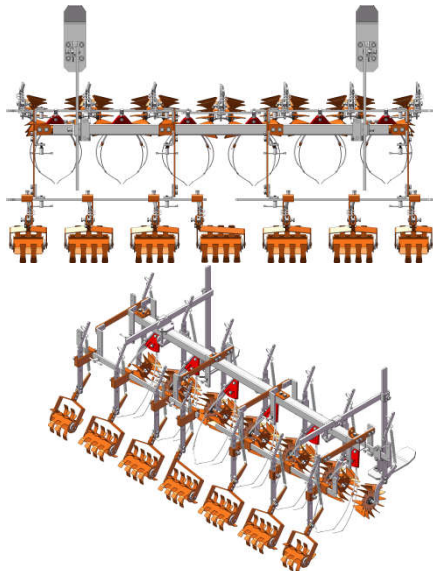
みのる用ヒッチを同時に注文された場合
ヒッチがフレームに取付けされた状態で発送します。
説明図と見た目が異なりますが、取付け方の基礎は
変わりません。

⑤ F: 米輪ダブル、米輪シングルを取付け

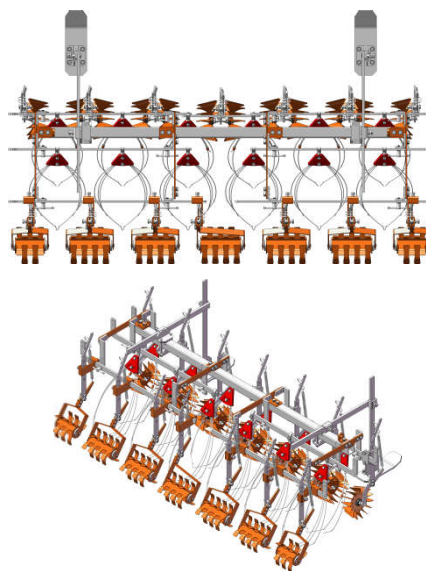
米輪なし 仕様の場合、次へ



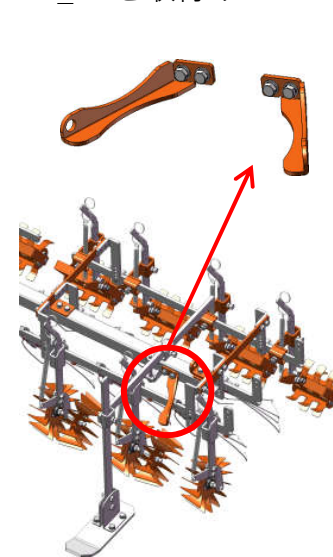
⑥ C: カゴ取付バーを取付け
(ガス抜きローター)



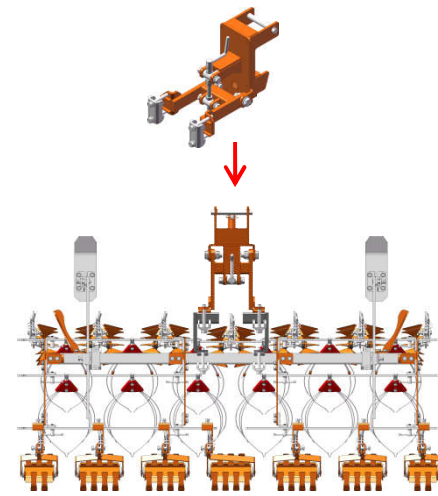
⑦ D: レーキ取付バーAを取付け
(Hレーキ 水田用)



⑧ B: スプリングアタッチ
_LRを取付け



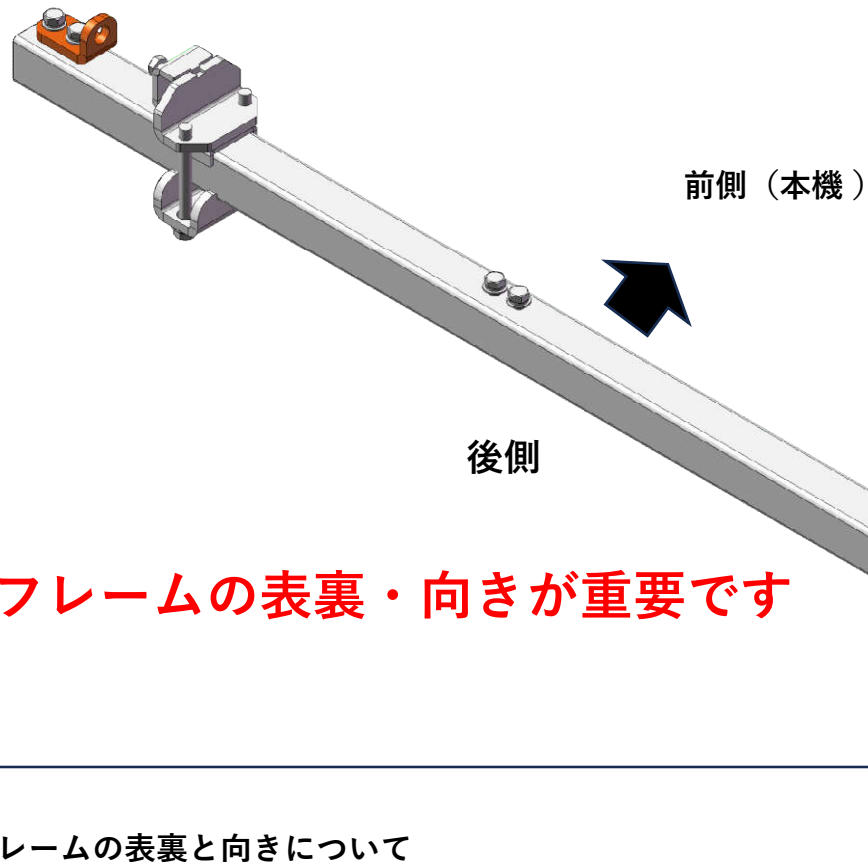
⑨ 最後、各種ヒッチを取付け



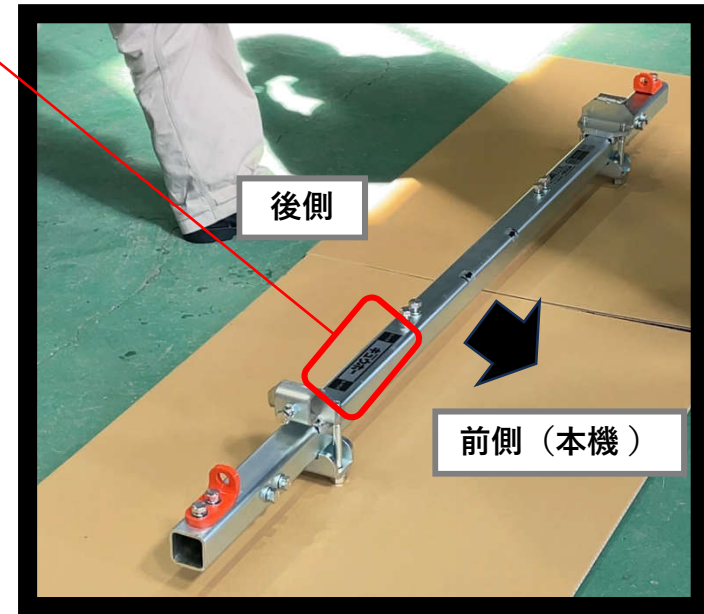
完成

工程-1

準備 A: フレームを取り出します

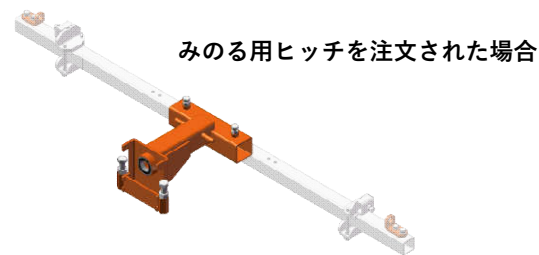


フレームの表裏・向きが重要です



A フレームの表裏と向きについて

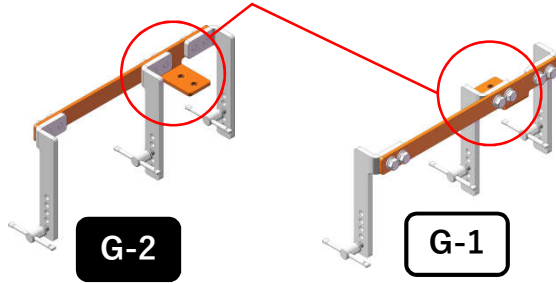
- ・ キューホー表記のシールが表 (天井へ上向き) になるよう置きます
- ・ 本機を取付ける、本機が前進する側を「前側」と定義します
- ・ 上記の逆または、本機が後退する側を「後側」として説明します
- ・ 「みのる用ヒッチ」を同時に注文されている場合は、右図のようにフレームにヒッチが付いている状態ですが、シールの向きで前後と表裏を確認下さい



工程-2

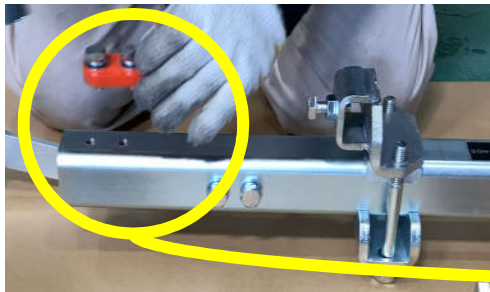
Aのフレームに「ブラケットSE」を取付

前のページで用意した「Aのフレーム」に「ブラケットSE」を4箇所取付けます。右図の指定の4箇所に【G-1】と【G-2】を取り付けます。
※ G-1とG-2は内向き外向きがあるので、右図を参考に取付けます
合否は「L型のオレンジ部分」の向きを確認する事が重要です

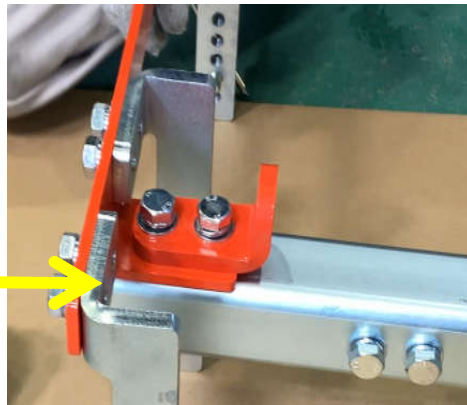


両端の取付について注意 (写真を参考)

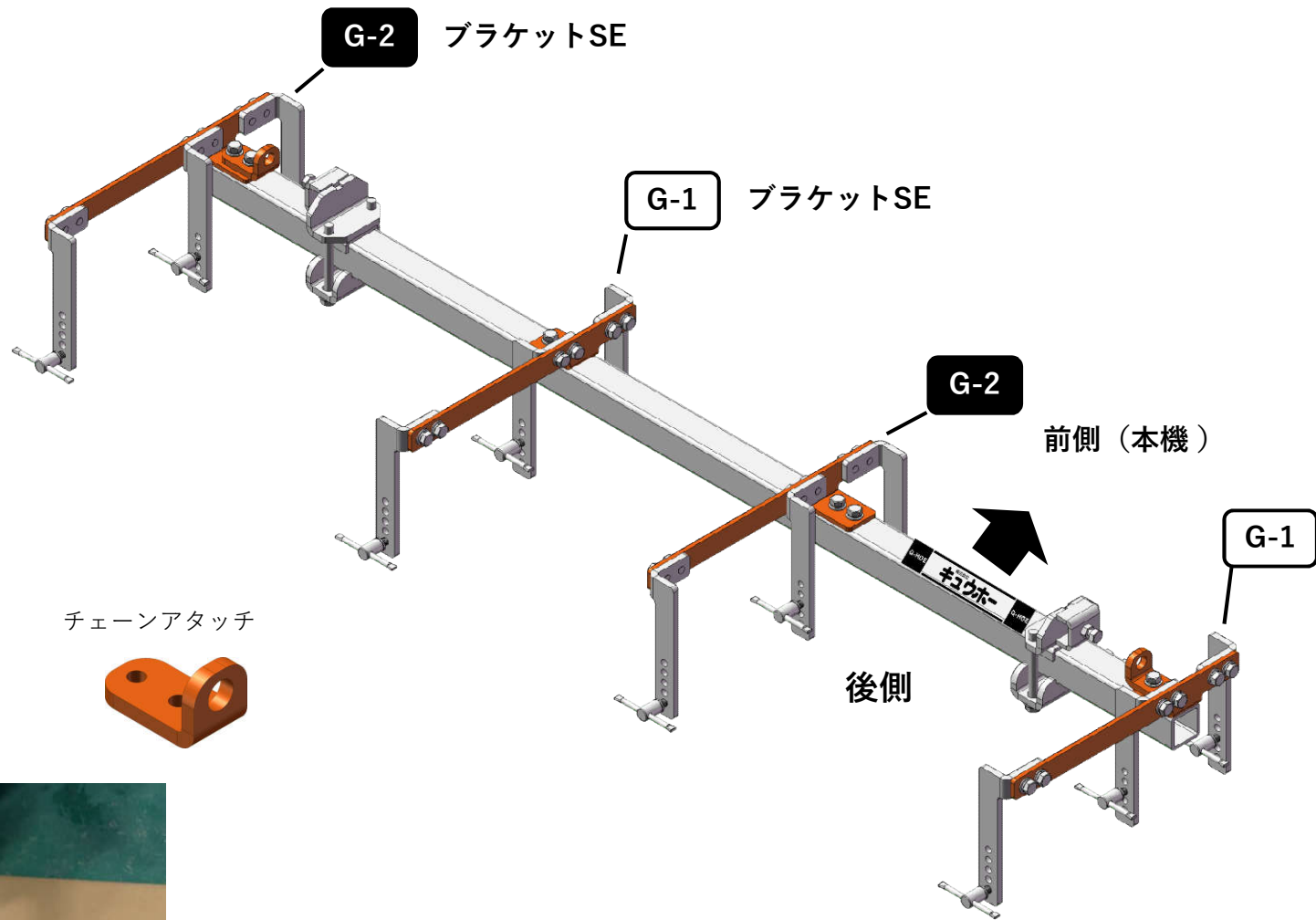
まずAフレーム付属の「チェーンアタッチ」をフレームから外します。
【G-1】か【G-2】をAのフレームに乗せてから、外した「チェーンアタッチ」を上に乗せ、共締めして下さい



発送時付いているチェーンアタッチをフレームから外します

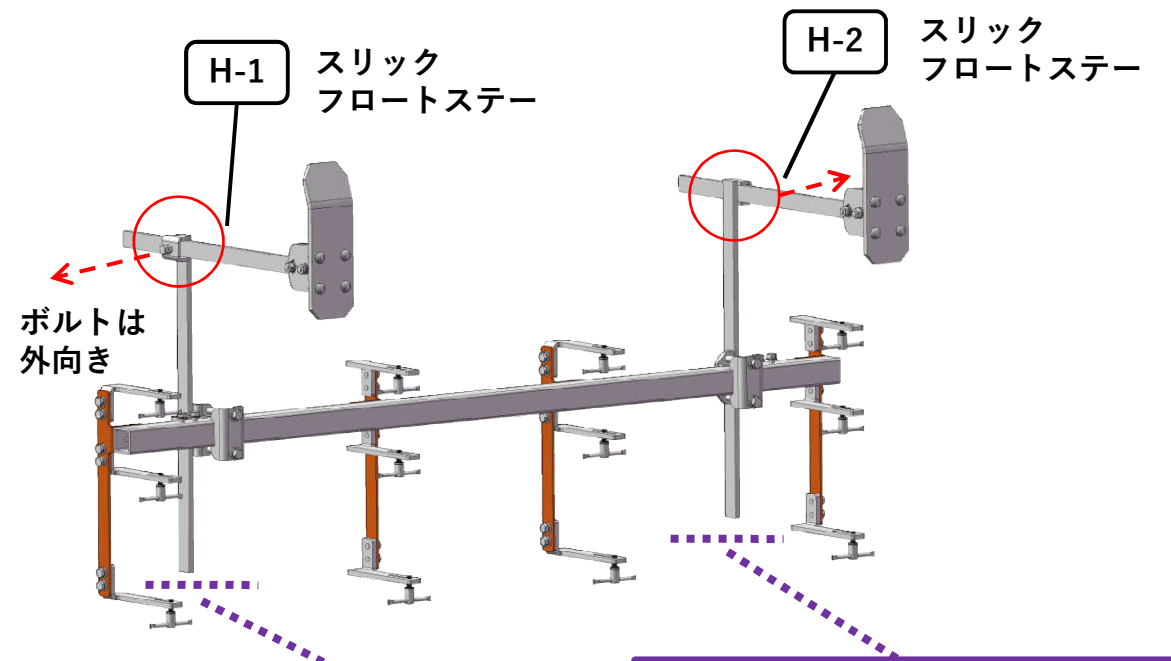
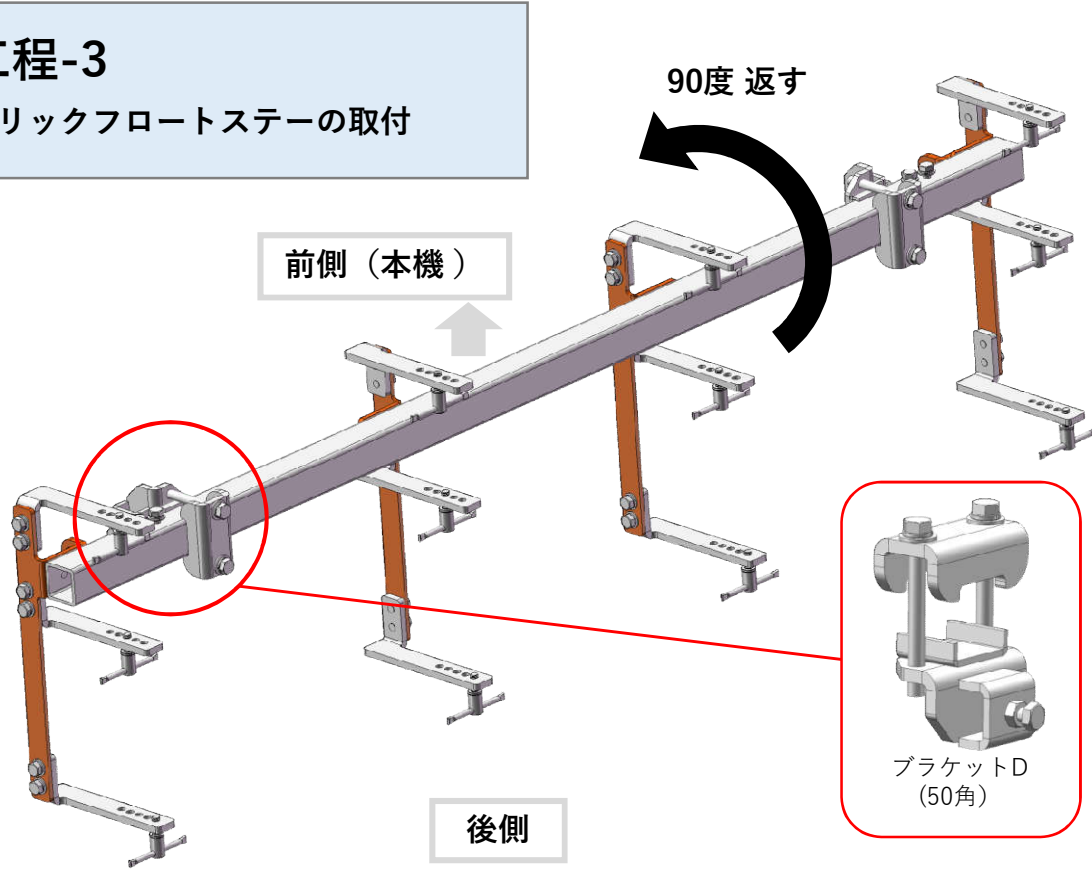


Aのフレームの上にブラケットSE→チェーンアタッチの順番で上に乗せて締めます



工程-3

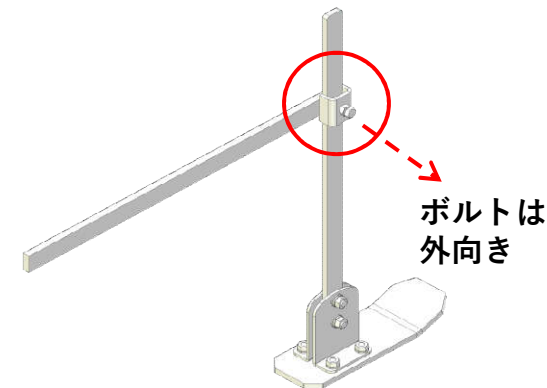
スリックフロースターの取付



上図のように前側 (本機) が天上に近くなるよう**90度返**して下さい。
※本機がある場合は、返す必要がありません
A フレームに付属している「ブラケットD(50角)」に「スリックフロースター」を差し込みます。
※スリックフロートは左右があり、右図のように**ボルトが外向き**になるように差し込んで下さい。

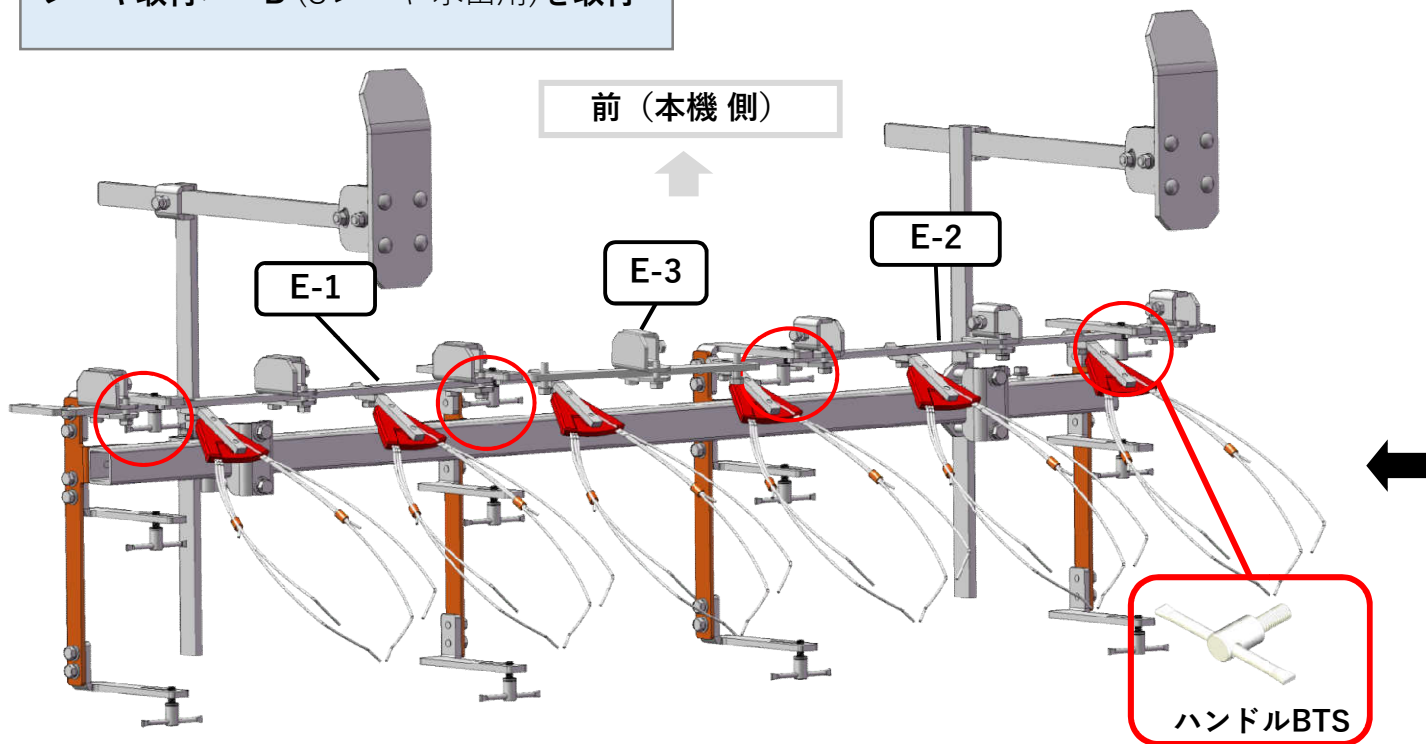
スリックフロースターを留める (固定) 位置について
右上図のようにスター (平鉄) を差して、作業床に当たるところで「ブラケットD(50角)」の押しボルトで仮止めで固定します。

※スリックは、作業機の深さを固定する役割です
使用時に現場で高さ調整が必要になるため、組立の段階では仮止めとなります

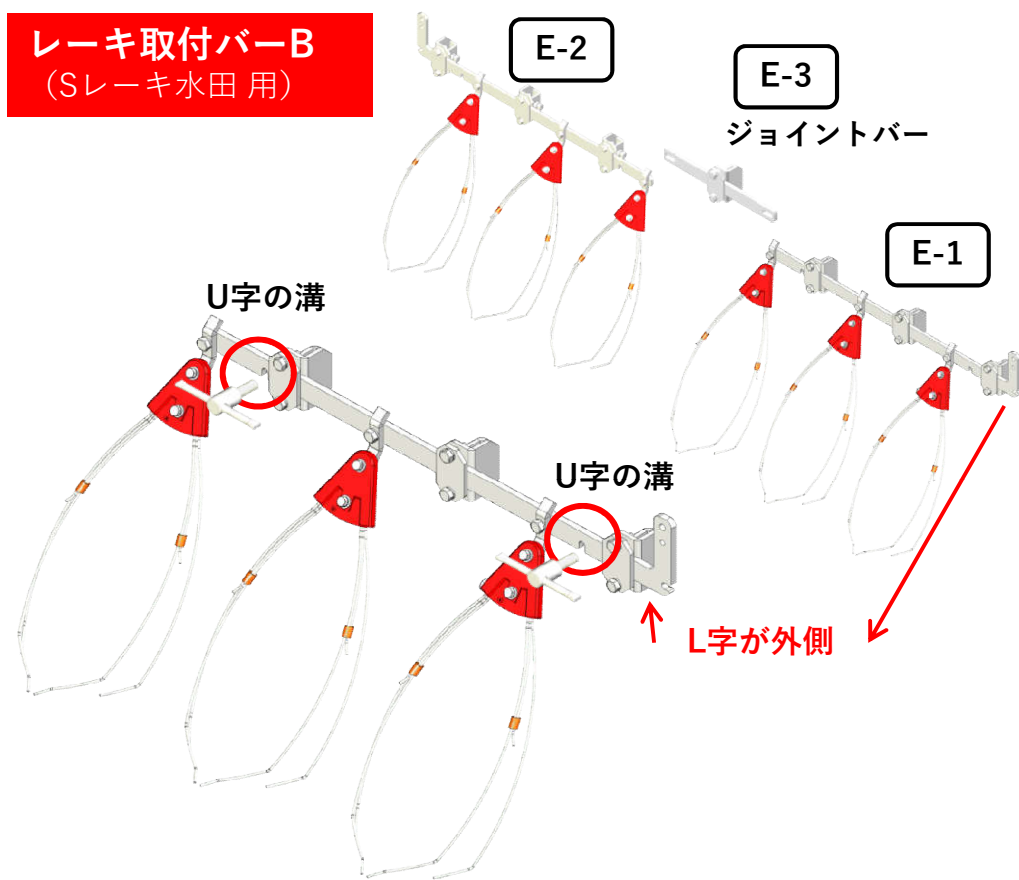


工程-4

レーキ取付バーB (Sレーキ 水田用)を取付



レーキ取付バーB
(Sレーキ水田用)



先程取付けたブラケットSEに「レーキ取付バーB」→「ジョイントバー」の順で取付けます。

取付方法について

ブラケットSEに付属されている「ハンドルBTS」を回して緩めます ※図を参照

レーキ取付バーBのU字の溝2箇所の際間にハンドルBTSの軸をハメます。緩めたハンドルを締めて固定します。

ジョイントバーは、レーキに付いているボルト(M10 x35)で共締めします。

※みのる用ヒッチ使用の場合は、ジョイントバーが前輪に干渉するため、取付け不可です

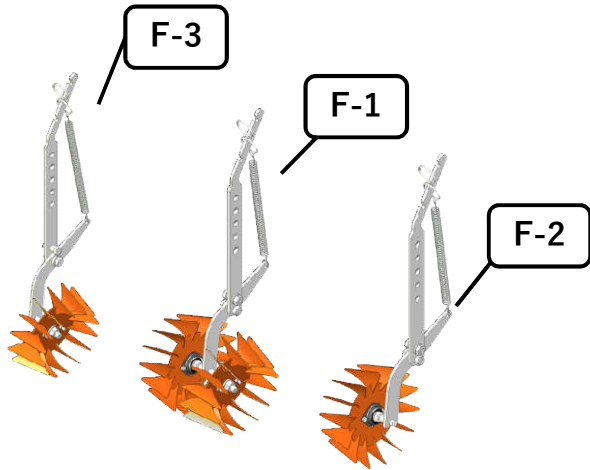
表裏と左右について

- ・表裏の確認方法 → レーキ (ハリガネ) の先端が床方向へ下がる付け方が正しい
- ・左右の確認方法 → 右上図のように、ステア端のL字が外側にくる向きが正しい



工程-5

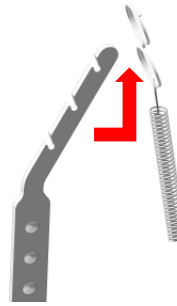
米輪（こめりん）の取り付けの事前準備



- F3 = 米輪シングル
- F1 = 米輪ダブル
- F2 = 米輪シングル

1. 事前準備 バネを外す

輪っかを掴んで上に引っ張り
バネを切り欠きから外します

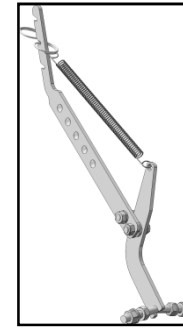


2. 米輪ダブルの確認

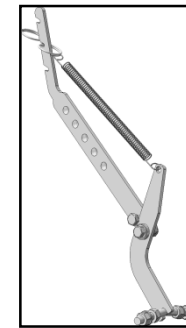
F1の米輪ダブルは2種類あります。



米輪は、**回転軸付きのバー**と
スプリングを掛ける切り欠き付きのバーの
2つで構成されています。



F-1A



F-1B



F-1A

F-1B

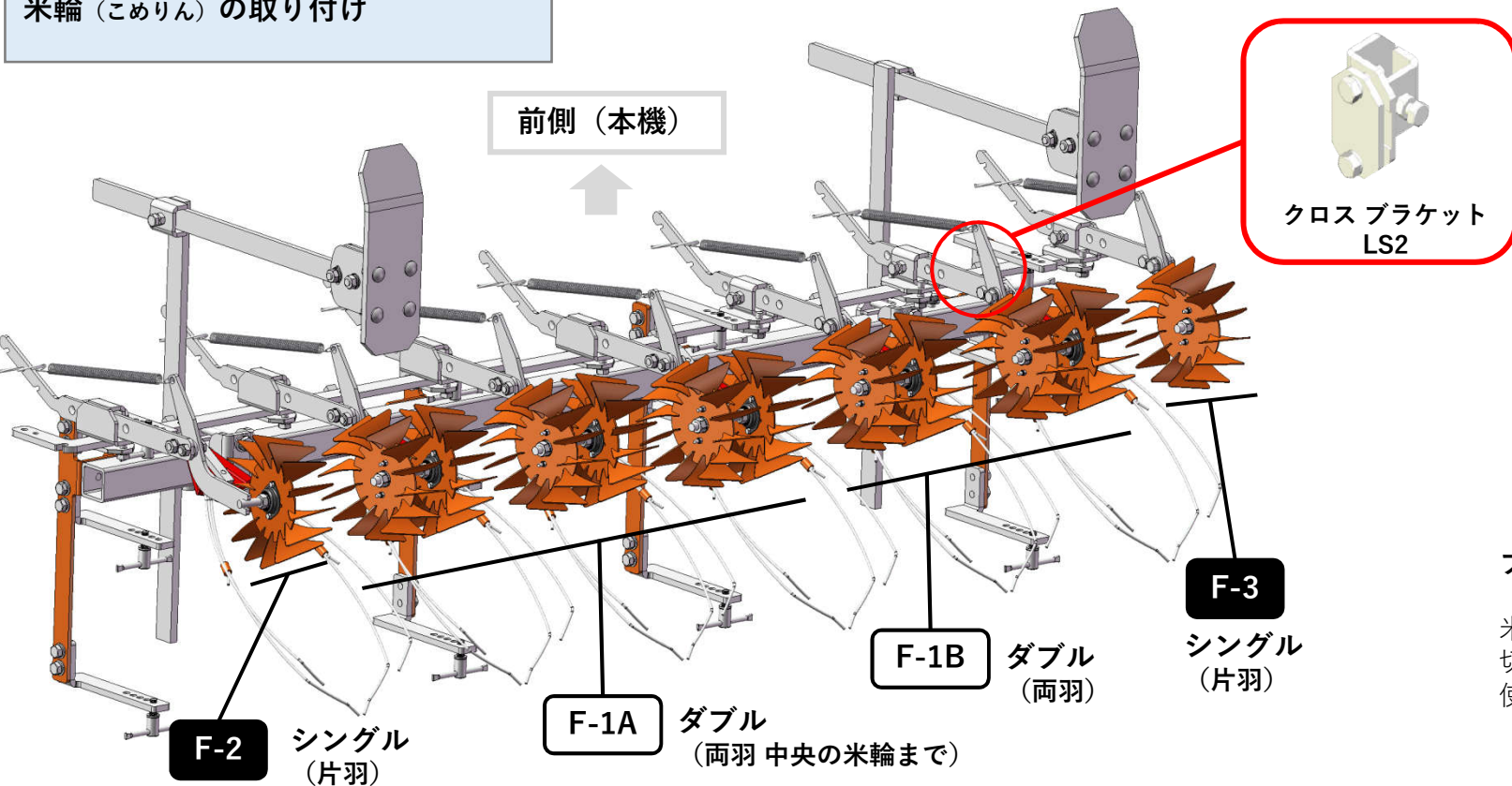
米輪の組み方を確認し、選別しておきます
F-1A = 回転軸付きが右側、切り欠き付きバーが左側
F-1B = 回転軸付きが左側、切り欠き付きバーが右側

事前準備

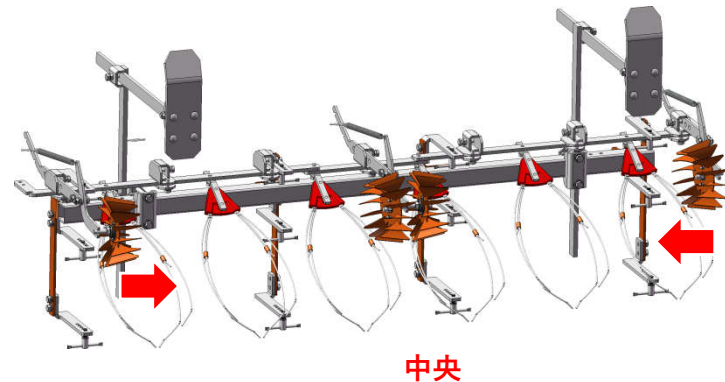
1. 全ての米輪は取り付ける前にスプリング先端の**フック**（上記1.を参照）から**外して用意**しておきます。
2. 米輪ダブルを2種類に分けます（上記2.を参照）。F-1は「F-1A」3個と「F-2B」2個と選別しておきます。
3. 米輪シングルは片羽が中心に向くように取付けますので、片羽の方向をご確認下さい。

工程-5

米輪（こめりん）の取り付け



米輪シングルの左右
フレームの両端 2箇所へ取付けます
羽の先端が中央向きになるよう取付ます



フックをかける位置の意味について

米輪が地面へ押し当てる強さを調整できます。
切り欠きの位置と2つの輪っかのどれかを使用するか？ことでバネの強さを調整します。



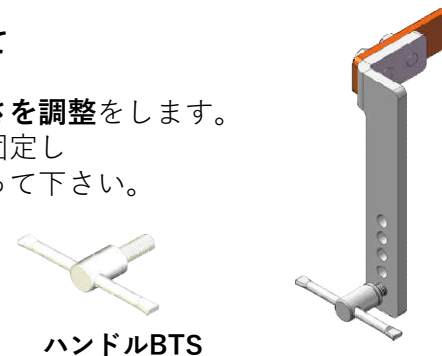
前ページで準備（選別）した米輪はダブル（両羽）とシングル（片羽）を上記の指定箇所へ取付けます。

表裏と取付け方について

米輪の表裏については、スプリングが天井の方向「前(本機側)」へ向くように取付けます。
「クロスブラケットLS2」に米輪のステーを差し込み、押しボルトで固定します。
固定されたらフックを掛けなおします。 ※フックを掛ける位置について右図

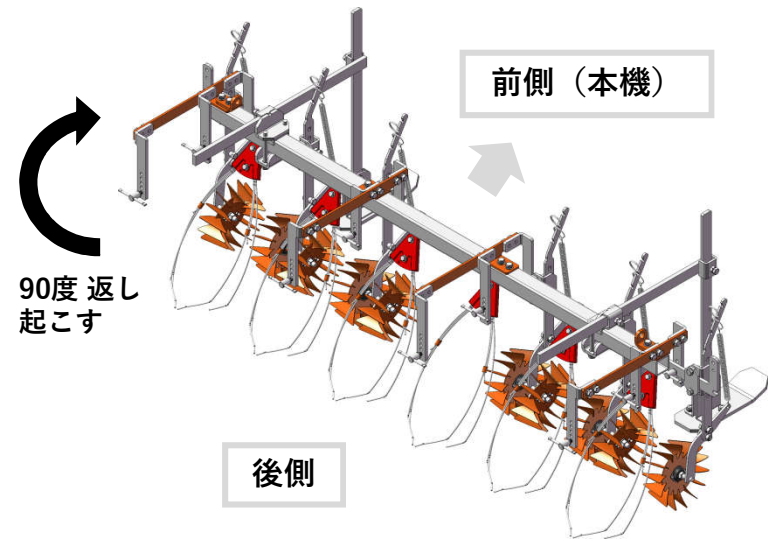
ハンドルBTSの位置について

取り付ける高さによって深さを調整をします。
組立時は出荷時の穴位置で固定し
圃場で深さの最終調整を行って下さい。



工程-6

カゴ取付バーの取り付け



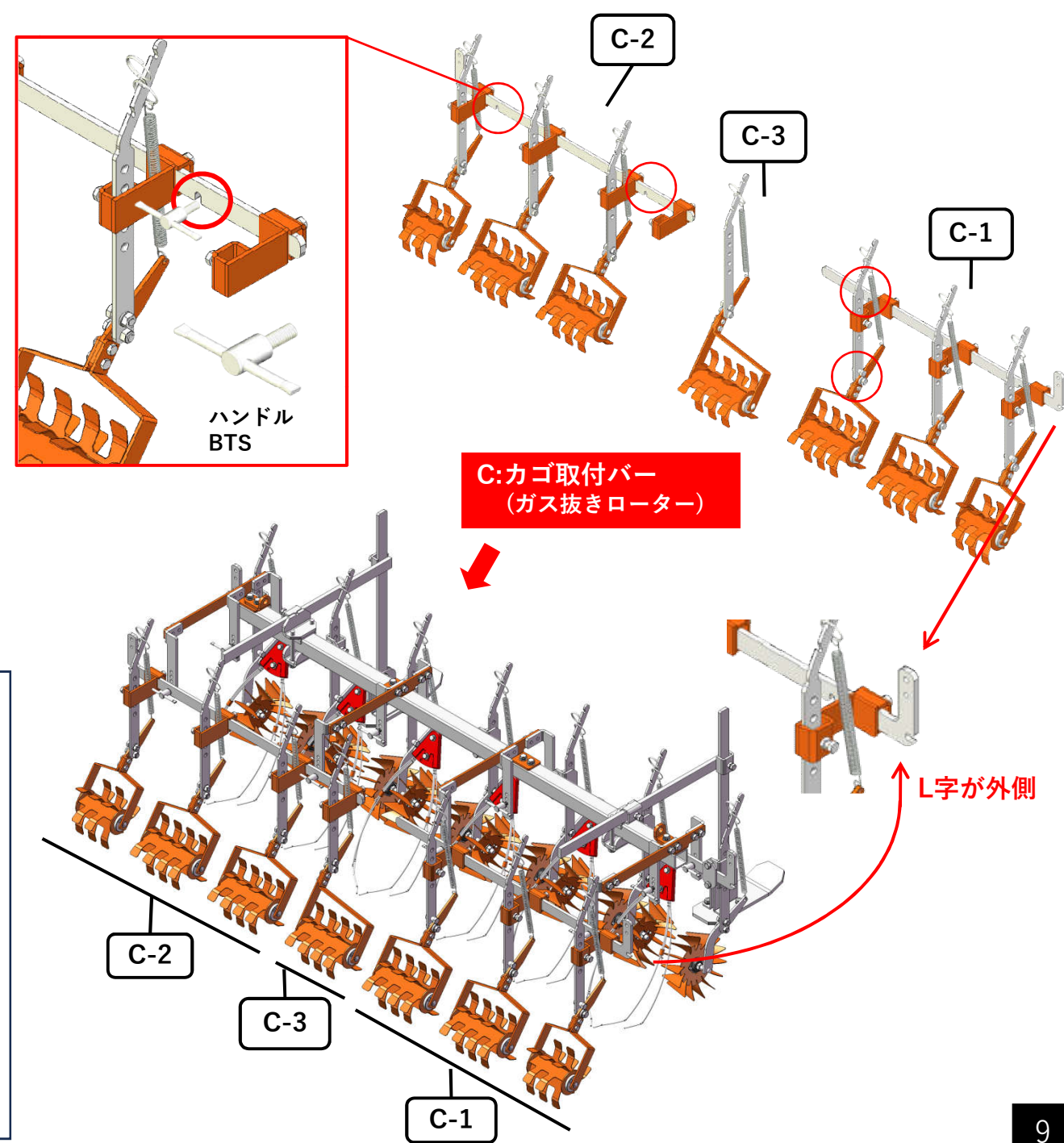
水田除草機Bを再び**90度返して起こします**。
スリックとレーキで自立する状態になるため、不安定で自立しません。
工程6では誰かに支えてもらう必要があります。
※**支えがない場合**、レーキに負荷がかかり、**曲がる恐れ**があります

取付方法について

ブラケットSEの一番後ろのハンドルBTSを緩めて
カゴ取付バーの溝にはめ込み、ハンドルBTSを締めます。

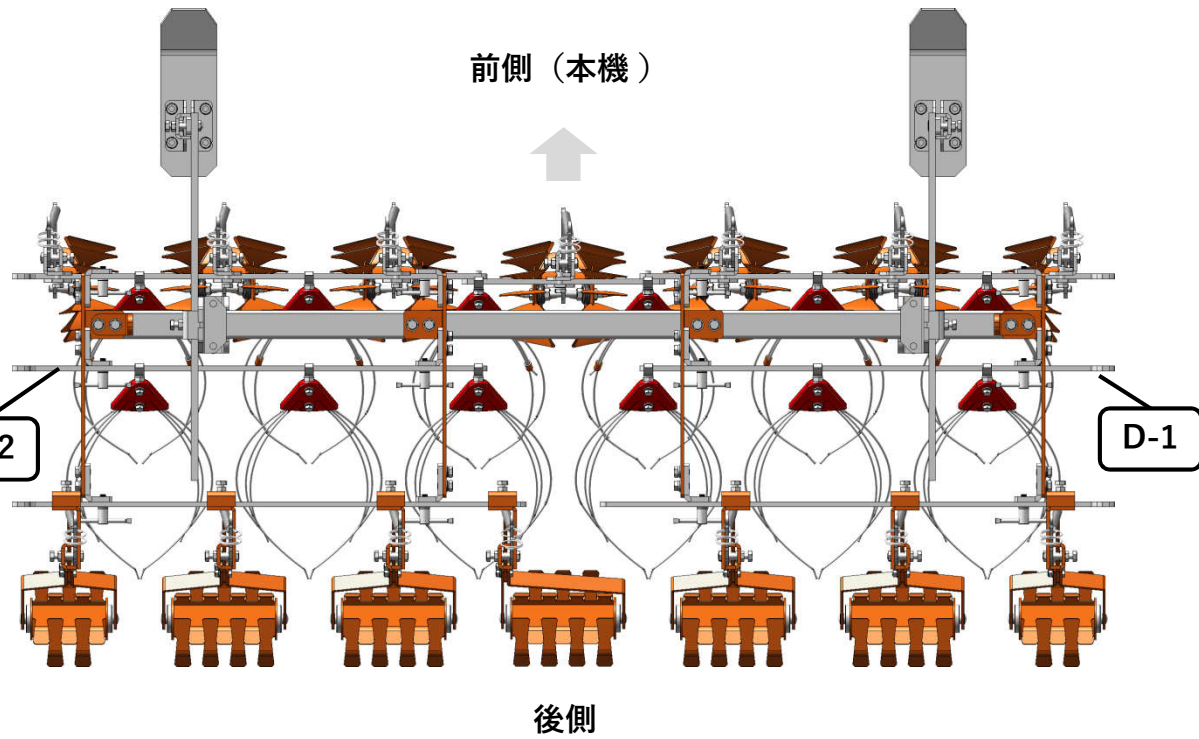
右図の指定の3箇所に【C-1】【C-2】【C-3】を取り付けます。
※ C-1～3は**左右**と**中央**の違いがあるので、右図の**指定箇所**を参考に取付けます

ハンドルBTSで固定した後は、支えの補助なしでも自立すると思います。



工程-7

レーキ取付バーA (Hレーキ 水田用)の取り付け



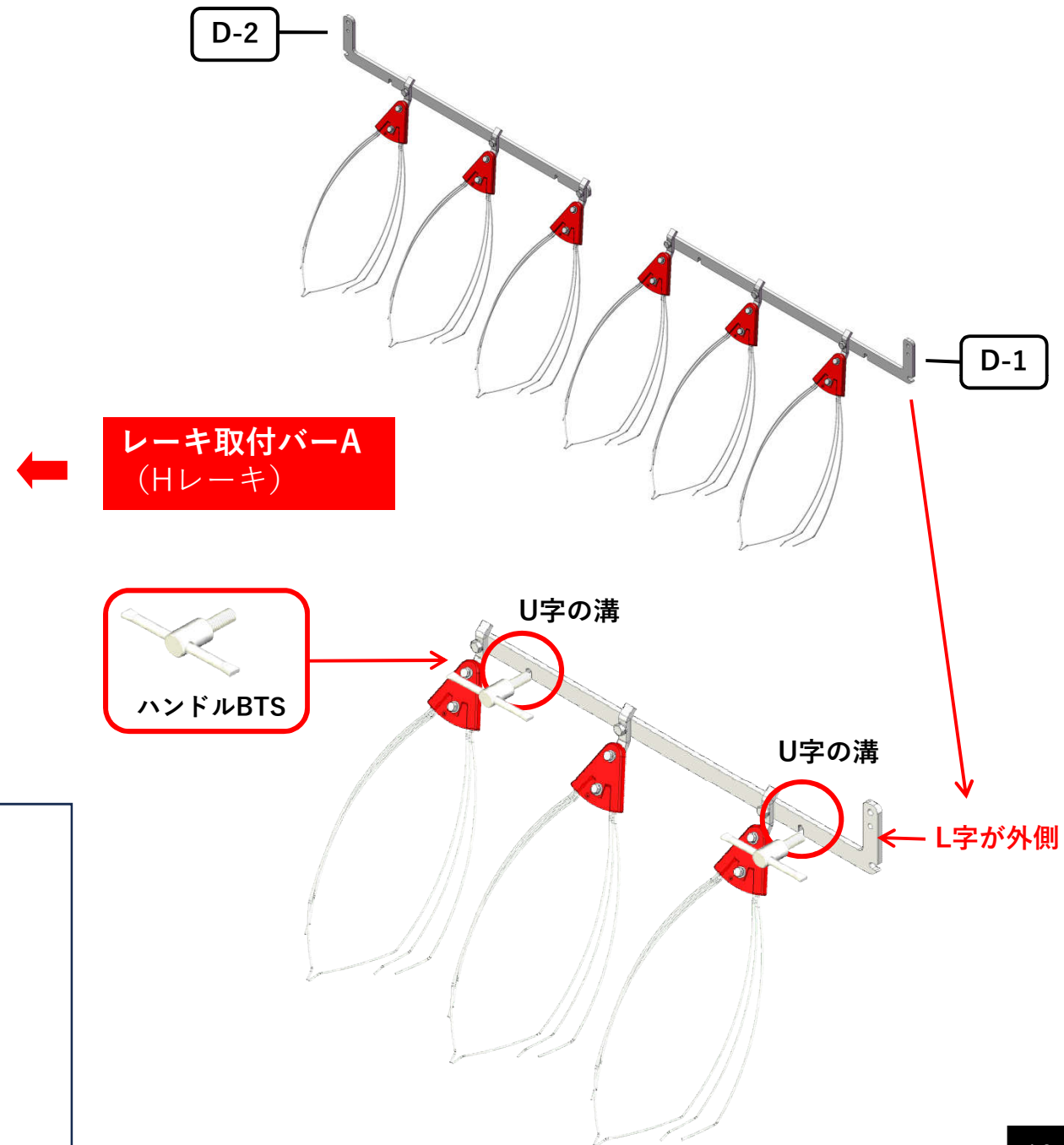
ブラケットSEに「レーキ取付バーA」を取付けます。

取付方法について

ブラケットSEに付属されている「ハンドルBTS」を回して緩めます
レーキ取付バーAのU字の溝2箇所にハンドルBTSの軸をハメたら
先程、緩めたハンドルBTSを締めて固定します。 ※右の図参照

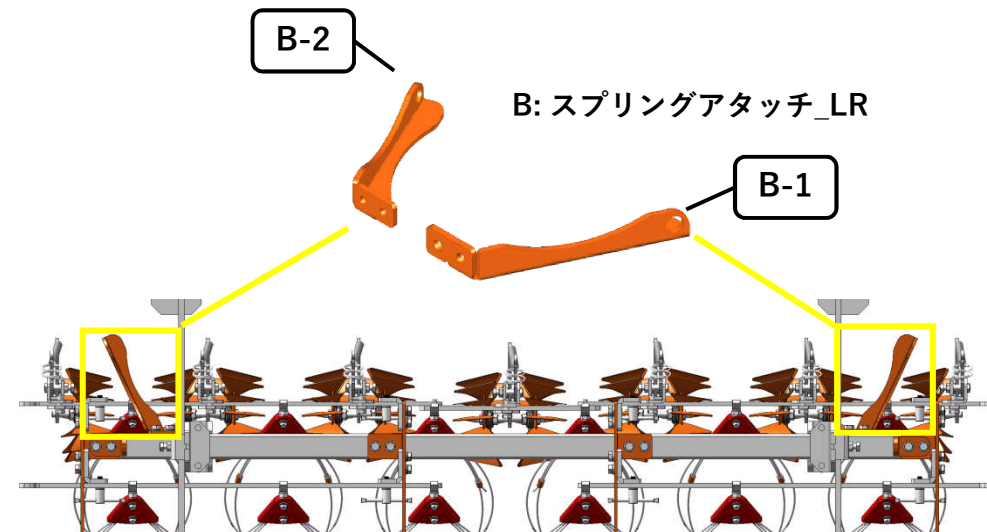
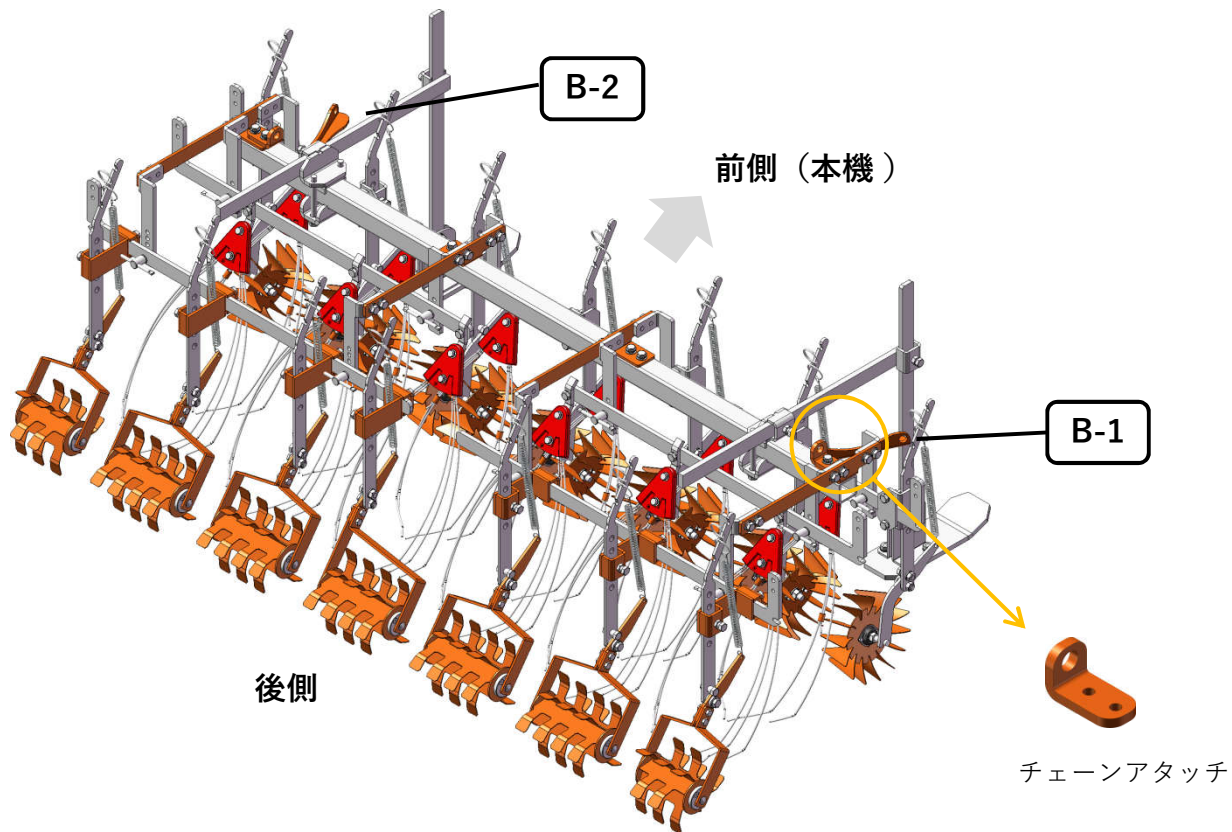
表裏と左右について

- ・表裏の確認方法 → レーキ取付けのボルト頭が後ろ側へ向いている状態が正しい
- ・左右の確認方法 → 右上図のように、ステー端のL字が外側になる向きが正しい



行程-8

スプリングアタッチの取り付け



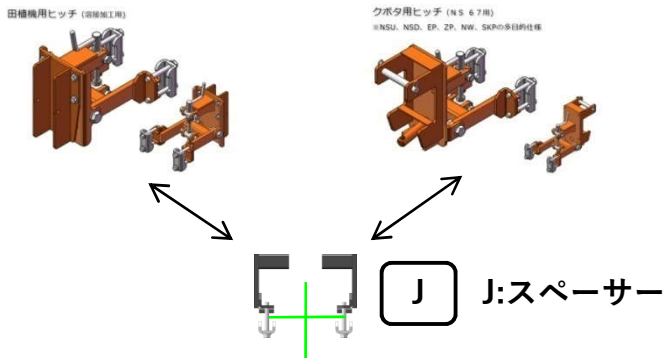
振れ止めを付ける必要がある場合、「B:スプリングアタッチ」を取り付けます。
チェーンアタッチも振り止め用の金具として活用できます。こちらもご活用ください。

取り付け方法:

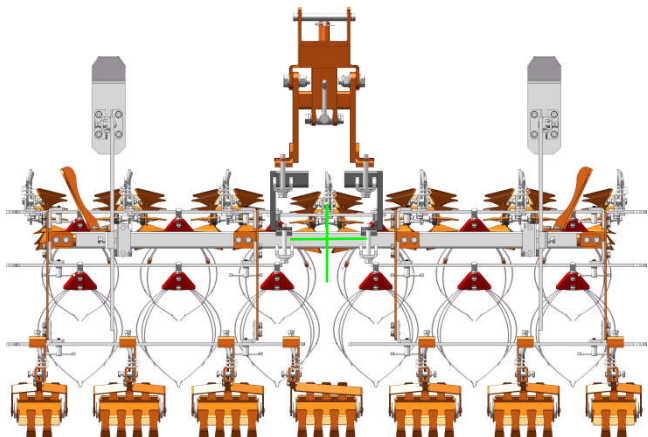
部品に左右上下がありますが、通常は外側に広がる向きで取り付けます。
作業機への取付の際にスプリングアタッチが干渉してしまう場合は
上下左右を反転させて取り付けることをお勧めします。
振れ止めが不要であれば、取付け不要です。

行程-9

各種ヒッチの取り付け



みのる用ヒッチを注文された場合
ヒッチがフレームに取付けされた状態で発送しますので、Jスペーサーが不要です。



除草機をけん引するための本機の手配ができたなら、「Aのフレーム」に「Jのスペーサー」を取付け、「スペーサー」に「ヒッチ」を取付けます。

【重要】 除草機の中央にヒッチの中央がくる（一直線上に重なる）ように調整をします。

※「スペーサー」は除草部品とヒッチへの干渉を防ぐため、必要です
※本機の手配が出来ていない場合、自立が難しいため、ヒッチの取付けは見送りましょう

ヒッチの取付け事例

キュウホー公式 Web ページでは
各種ヒッチと本機の取付け事例の写真を掲載しています。

609:クボタ用ヒッチ (SPU用)

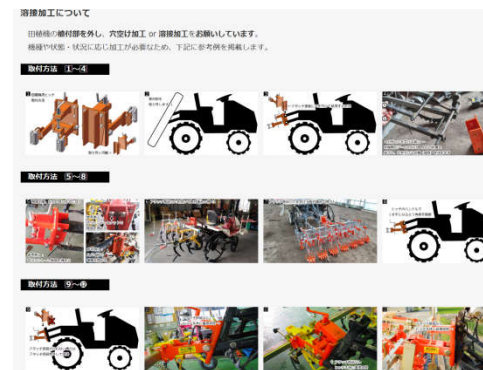


611:クボタ用ヒッチ (NS67用)



製品一覧 ▶ ヒッチ
QRコードでアクセス

型式:P606-A 「田植機用ヒッチ (溶接加工)」 を本機に取付ける場合



溶接加工について
QRコードでアクセス

水田除草機B 6条を→8条 (2条足す) 場合



米輪ダブル

ガス抜きローター

水田追加セットB ※図は米輪付きの場合

6条を8条対応にする場合、**水田追加セットB (6条→8条)**が必要です。

1. 両端のバー先端部に追加の**取付けバー**を追加します。(下図 6箇所) ※米輪なしは、4箇所
 ※ボルト・ナット, ハンドルBTS, パイプロックピンで固定
 ※両端のバーは、折りたたみ機能があり、収納時、道路走行時に上げて収納できます
2. 水田除草機の両端に付いている**米輪とガス抜きローター**(下図 4箇所)を外し、追加セットBの**取付けバー**へ付け替えます。(右上図 4箇所) ※米輪なしは、2箇所
3. 上記で**外した箇所**に追加分セットBの**米輪とガス抜きローター**を付けます。(右上図 4箇所)

[2.]の補足・図説

「1.」で**外した両端の米輪とガス抜きローター**(6条で元々使用していた分)を追加した**取付けバー**へ付け替えます。

[3.]の補足・図説

追加セットの米輪とガス抜きローター(新規購入分)は「1.」で外した箇所へ取付けます。

